

常務

至急 親展

陸軍部 第九三



第五旅甲電第

電報

五九號

報

次

張

宛

獨立混成第五旅團長

總參謀長ヨリ

汪精衛ハ日支條件原案暴露問題ニ關シ責

任ヲ痛感シ稍々意氣銷沈ノ傾向アリシヲ以テ

本二十四日三巨頭會議開催ニ先立チ特ニ汪ト

會見シ此ノ如ク問題ニ拘泥スルコトナク

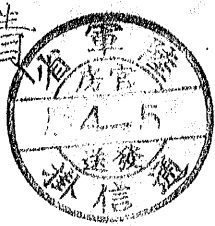
三月一日

0275

76

第

頁



ク迄初志ニ向ヒ萬途スベク激勵シ置ケリ  
 會談要旨左ノ如シ

汪<sup>7</sup> 高、陶兩名ノ交渉條件ノ暴露問題ハ  
 我等ノ平和運動ニ對スル影響甚カラズ一般  
 民衆ハ之ニ依リ相當ノ不滿ヲ感ズベク之ニ對  
 シテハ今後ノ事實ヲ以テ證明スルノ外ナキ  
 次第ナルガ此ノ如キ失態ヲ演ジタルハ全ク  
 予ノ不明ノ致ス所ニシテ特ニ日本側ニ對シ

責任ノ重大ナルヲ痛感スルコトナリ

目下日本側ニ於テハ内閣更迭直後議會再開ノ時期ニモアリ問題ヲ惹起スルコトモ豫想セラルルヲ以テ其ノ際ハ貴下ヨリ率直ニ其ノ旨ヲ予ニ傳ヘラレ度

予ハ何時ニテモ責任ノ地位ヲ去リ他ノ責任者ニ平和運動ヲ繼續マシムルコトト致シ度

板<sup>ト</sup> 今回ノ事件ハ誠ニ遺憾ニ堪ヘザルトコト

ナルモ由來此ノ種火事業ニ關シ前途ニハ幾  
 多ノ障碍アルベキコトハ豫想セラルルトコロ本問  
 題ノ如キモ火事ノ前ノ小事ナリ

之ガ爲蹉跌ヲ來スガ如キコトアラシカ重慶側  
 ノ乗ズル所トナリ本來ノ目的ヲ沒却スルニ至  
 ルベシ、今同ノコトハ禍ヲ轉ジテ福トナスノ對  
 策モ無キニアラザルベクノ益々大勇猛心ヲ奮  
 ヒ所志ノ貫徹ニ邁進セラレヨ

予、此ノ言ハ日本側全部ノ意見ヲ代表ス  
ルモノト断言シ得

注<sup>T</sup> 予トシテハ固ヨリ之ガ爲意志挫折スル  
ガ如キコトナキモ率直ニ予ハ責任感ヲ表明  
セル次第ナリ

高宗武ニ就テハ昨年既ニ影佐、今井兩君ヨ  
リ注意アリシモ高ハ單獨ニ上京シテ日本要  
路ニ對スル運動ヲ開始セル關係モアリ今日

其ノ儘トナシ置キタル次第ニシテ返ス返  
スモ遺憾ナリ

去ル一月十六日ノ予ノ蔣ニ對スル通電ハ香港  
各支那新聞ニ掲載セラレタルモ斯クノ如キハ  
未ダ留目テナキコトニシテ重慶側ノ空氣モ大  
イニ緩和セラレ和平運動促進ノ機運ヲ醸成  
セラレアリ

重慶側ガ此ノ如ク暴露戦法ニ出デタルハ尚

抗戰繼續ノ企圖アルイトヲ表明スルモノニシテ  
 對重慶工作事業困難ノ度ヲ増加スルモノ  
 ト覺悟セザルベカラズ

又海南島揚子江ノ問題ニ就テ英米方面ヲ  
 刺戟シ我が方ニ對シ好意ヲ持チ得ザルコトト  
 ナリ外交方面ニ於テモ篤ト日本側ト密ニ連  
 繫シテ對策ヲ講究スルノ要アルベシ  
 板 事實ト相違スル條件ノ暴露ニ伴フ

4

對策トシテハ今後事實ニ依リ之ヲ證明スル  
 ノ著意モ必要ナルベク又對重慶並ニ對英  
 米關係ハ特ニ注意ヲ要スルモノアリ貴我  
 兩方面共十分ナル研究ヲ遂ゲ對策ヲ講ズ  
 ル必要アルコト全ク貴意見ニ同感ナリ貴  
 意ノアル所十分我政府要路ニモ傳達スベシ  
 此際特ニ本會談ノ圓滿ナル成功ヲ切望ス

外電

(終)

貴重記吉印出位ニ字道附稿 26/11

